

証券コード5471

**DAIDO STEEL GROUP**  
Beyond the Special

# 第95期第2四半期 (中間)報告書

(2018年4月 1日から)  
(2018年9月30日まで)

 **大同特殊鋼株式会社**

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第95期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の事業の状況等につきましてご報告申し上げます。

### 事業の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直しており、企業に関しましても海外景気の緩やかな回復等を背景に鉱工業生産が増加するなど、緩やかな回復基調が継続いたしました。欧米でも、雇用拡大を背景に緩やかな景気拡大が続きました。中国は輸出の増加により景気の持ち直しの動きが続きました。

このような経済環境の中、自動車産業は好調が継続し、受注は高位で推移いたしました。加えて産業機械向け需要が旺盛であり、鋼材売上数量は増加いたしました。原料・資材関係では、鉄スクラップ価格は国内需要が旺盛であったこと、合金関係も世界経済の堅調さを背景に前年同期よりも高値で推移いたしました。また、製鋼工程で使用する黒鉛電極等副資材価格が高騰し、コストアップとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、数量増加および販売価格の上昇により前年同期比285億24百万円増収の2,696億43百万円となりました。経常利益につきましては、副資材価格の高騰によるコストアップを受け、前年同期比7億50百万円減益の175億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11億31百万円減益の107億59百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき65円とさせていただきます。

なお、通期(2019年3月期)の連結業績予想につきましては、次のとおり前回(2018年4月27日)発表の業績予想を修正しております。

## 2019年3月期の連結業績予想

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2018年3月期(実績)		505,219	36,218	36,130	23,920
2019年 3月期	前回発表予想 (2018年4月27日)	550,000	36,500	37,000	24,000
	今回修正予想 (2018年10月31日)	551,000	35,000	36,000	22,000

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント業績は、以下のとおりであります。

### 特殊鋼鋼材

構造用鋼は、自動車関連需要が高位で推移したこと、産業機械向けの需要も旺盛であったことから前年同期比で数量が増加いたしました。工具鋼も、自動車業界の堅調さ等を受け前年同期比で数量が増加いたしました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需要が旺盛であったため前年同期比で上昇いたしました。製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も上昇し、コストアップとなりました。販売価格は原料・副資材価格の上昇を反映し前年同期比で上昇いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材部門の売上高は、数量増・販売価格上昇により前年同期比11.6%増加の1,020億48百万円、営業利益は、副資材価格等のコストアップが響き、前年同期比26億48百万円減益の21億38百万円となりました。

### 機能材料・磁性材料

ステンレス鋼・高合金は、自動車の燃費改善に向けた動きの中で需要が増しており、数量は前年同期比で増加いたしました。磁石製品は、ハイブリッドカーの駆動用モーター向けが増加いたしました。粉末製品は、海外需要が回復したこと等により数量が増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料部門の売上高は、数量増・販売価格上昇により前年同期比14.3%増加の926億60百万円、営業利益は、数量増、内容構成良化等が寄与し前年同期比6億23百万円増益の114億1百万円となりました。

## 自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、航空機関連需要が堅調に推移したことや、原油価格の上昇を受けてオイル&ガス向けの需要が持ち直してきたこと等により、売上高は前年同期比で増加いたしました。型鍛造品・エンジンバルブ部品は、自動車生産の好調さから、売上高は前年同期比で増加いたしました。精密鋳造品は、ターボ関連製品の需要拡大が継続し、売上高は前年同期比で増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品部門の売上高は、主に数量増が寄与し前年同期比7.1%増加の554億26百万円、営業利益は、副資材価格の上昇等の影響を受け前年同期比30百万円減益の11億34百万円となりました。

## エンジニアリング

企業の設備投資が好調であったことを受け、当第2四半期連結累計期間のエンジニアリング部門の売上高は、前年同期比20.8%増加の126億52百万円、営業利益は前年同期比78百万円増益の7億53百万円となりました。

## 流通・サービス

当第2四半期連結累計期間の流通・サービス部門の売上高は、前年同期比7.3%増加の68億56百万円となりました。営業利益は前年同期比13百万円増益の13億36百万円となりました。

## 当社グループのセグメント別売上高

セグメント区分	第94期上半期 (2017/4-9)		第94期下半期 (2017/10-2018/3)		第95期上半期 (2018/4-9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
特殊鋼鋼材	91,455	37.9	97,639	36.9	102,048	37.8
機能材料・ 磁性材料	81,068	33.6	89,718	34.0	92,660	34.4
自動車部品・ 産業機械部品	51,733	21.5	54,555	20.7	55,426	20.6
エンジニアリング	10,471	4.3	14,393	5.4	12,652	4.7
流通・サービス	6,390	2.7	7,791	3.0	6,856	2.5
合計	241,119	100.0	264,099	100.0	269,643	100.0

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 対処すべき課題

当期の世界経済は、米国をはじめ先進国は雇用環境の堅調さから緩やかな成長が継続すると見込まれます。中国も不動産価格や過剰債務の問題などが顕在化するリスクはあるものの、政府の政策等により比較的安定した成長が見込まれます。これを受けて需要面では引き続き数量高位が継続すると見込んでおります。ただし、米中間での貿易摩擦が今後世界経済に悪影響を及ぼす可能性があり、その動向を注視していく必要があります。

一方、原材料となる鉄スクラップ価格は高位であり、製造に使用する黒鉛電極をはじめとした副資材、エネルギー価格は上期よりも上昇し、コストアップとなる見込みです。

このような経営環境の中、当社は数量高位継続に対し、安定稼働を続けることにより引き続きしっかりと供給を果たしていくとともに、外部起因によるコストアップに対し、徹底したコスト削減努力と販売価格への適切な転嫁に向けたお客様との対話を続けてまいります。

他方、中長期的な視点では、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが地球規模での大きなテーマとなっています。お客様においても地球温暖化ガスの削減が大きなテーマとなっており、自動車の内燃機関や航空機のジェットエンジンの高効率化が求められています。自動車産業ではさらに、電動化などのパワートレインの多様化や自動運転、コネクテッドカー化など、100年に1度の大きな技術革新が起きようとしています。また、ビッグデータ、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット化）を活かしたデジタル革命が進んでおり、いろいろな産業界に変革がもたらされようとしています。それにより、半導体需要の増加やロボットによる自動化等が進展すると見込まれます。

当社は、これらお客様の技術革新を、機能性に優れた素材を提供することで支えてまいります。例えば、内燃機関・ジェットエンジンの高効率化には高耐熱・高耐食ステンレス鋼や高合金を、自動車の電動化には高性能磁石や高機能粉末を、自動運転化には軟磁性材料等を提供してまいります。デジタル革命に対しても半導体製造装置に必要な高潔浄ステンレス鋼や自動化・ロボット化に必要な高性能磁石等、お客様の必要とする高機能な素材を提供することで、その進化・技術革新をしっかりと支えてまいります。

当社では、本年6月に2020年度（2021年3月期）までの3年間を実行期間とする中期経営計画（大同特殊鋼グループ2020中期経営計画）を策定し公表いたしました。この実現のために、下記3点の行動方針のもと中長期的成長を目指してまいります。

## ①ポートフォリオ改革(構造材料から機能材料へ)

成長機会の多い機能材料・磁性材料セグメントへ積極投資を実施し、売上高トップセグメント化を目指します。全社的製品ポートフォリオを改革し、利益の最大化を目指してまいります。

今後は耐熱性、耐食性、高潔度や磁気特性等の機能性に優れた素材へのニーズが高まる見込みです。ステンレス鋼、高合金、粉末といった機能材料や磁性材料の需要が継続的に伸びていくと想定しています。この動きを確実に捉え安定供給を果たすべく、生産能力の増強投資(ステンレス鋼連続鋳造ライン合理化、熱処理・冷間加工設備増強、再溶解設備増強、高級帯製造能力増強、粉末製造能力増強他)、ソリューション機能の強化を順次進めてまいります。また、長期的に大きな市場成長が見込まれる磁石事業につきましては、研究開発体制の強化、海外拠点の新規立地検討等を進め、今後の成長に向けた準備を整えてまいります。

## ②事業基盤の強化(損益分岐点改善、経営体質強化)

長期継続的な成長を実現するため、事業基盤を強化してまいります。

事業全体の基盤である鋼材事業に関しましては、諸資材価格の高騰にともなう販売価格の是正に対してお客様のご理解をいただけるよう努力していくとともに、徹底したコストダウンを行い、再生産可能な適正マージンを確保することを目指してまいります。また、既存設備の能率向上、一貫歩留の向上、物流の整流化を進め、生産スループットの最大化を目指してまいります。持続可能な社会の実現に向け、環境投資も積極的に進めてまいります。事業基盤の根幹である人材に対しても働き方改革による生産性向上と人材育成の両立を目指してまいります。株主の皆様への還元につきましては、今中期経営計画期間の旺盛な投資を踏まえ、引き続き配当性向 20 ～ 25%を目安としてまいります。

### ③事業の再構築

不採算事業についての見極めを行い、採算の取れる事業への再構築、あるいは事業継続可否判断を進めてまいります。選択と集中を進めることにより経営効率を上げ、中長期的に資本効率を高めてまいります。

当社グループはグループ経営理念を「素材の可能性を追求し、人と社会の未来を支え続けます」と定めております。素材または素材に関する技術をもって素材が秘めている可能性をひきだし、新たな価値を創造することで、人と社会の未知のニーズに応え、その発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長 石黒 武

## 四半期連結貸借対照表 (2018年9月30日現在)

当第2四半期連結会計期間末

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資 産 の 部)</b>		<b>(負 債 の 部)</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>311,941</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>240,100</b>
現金及び預金	41,595	支払手形及び買掛金	53,354
受取手形及び売掛金	119,066	電子記録債務	40,082
電子記録債権	14,373	短期借入金	102,290
たな卸資産	130,422	1年内償還予定の社債	10,000
そ の 他	6,553	未払法人税等	5,040
貸倒引当金	△68	賞与引当金	7,678
<b>固 定 資 産</b>	<b>350,056</b>	その他の引当金	1,445
<b>有形固定資産</b>	<b>219,266</b>	そ の 他	20,208
建物及び構築物 (純額)	79,671	<b>固 定 負 債</b>	<b>97,463</b>
機械装置及び運搬具 (純額)	92,099	社 債	10,000
そ の 他 (純額)	47,495	長期借入金	51,881
<b>無形固定資産</b>	<b>1,524</b>	その他の引当金	3,461
<b>投資その他の資産</b>	<b>129,264</b>	退職給付に係る負債	9,976
投資有価証券	102,059	そ の 他	22,144
退職給付に係る資産	19,281	<b>負 債 合 計</b>	<b>337,564</b>
そ の 他	8,008	<b>(純資産の部)</b>	
貸倒引当金	△85	<b>株 主 資 本</b>	<b>259,242</b>
		資 本 金	37,172
		資 本 剰 余 金	30,337
		利 益 剰 余 金	195,380
		自 己 株 式	△3,647
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>32,705</b>
		その他有価証券評価差額金	28,132
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	1,805
		為替換算調整勘定	1,145
		退職給付に係る調整累計額	1,623
		<b>非支配株主持分</b>	<b>32,485</b>
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>324,433</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>661,998</b>	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>661,998</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



# 四半期連結損益計算書 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)

当第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		269,643
売 上 原 価		224,284
売上総利益		45,358
販売費及び一般管理費		28,606
営業利益		16,752
営業外収益		
受 取 利 息	91	
受 取 配 当 金	975	
持分法による投資利益	520	
そ の 他	791	2,377
営業外費用		
支 払 利 息	481	
固定資産除却損	309	
為 替 差 損	255	
そ の 他	513	1,560
経常利益		17,569
特別利益		
投資有価証券売却益	28	28
特別損失		
投資有価証券売却損	27	27
税金等調整前四半期純利益		17,570
法人税、住民税及び事業税	5,614	
法人税等調整額	79	5,694
四半期純利益		11,876
非支配株主に帰属する四半期純利益		1,116
親会社株主に帰属する四半期純利益		10,759

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料</li> <li>●特殊鋼鋼材加工、流通</li> <li>●原材料販売</li> <li>●運輸、物流</li> </ul>
機能材料・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料</li> <li>●磁材製品 (OA・FA用モーター、自動車用メーター・センサー、計測機器用部品等)</li> <li>●粉末製品 (HEV用磁性粉末等)</li> <li>●チタン材料製品 (医療用チタン合金、形状記憶合金等)</li> <li>●溶接用材料</li> </ul>
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品 (自動車・ベアリング向け部品等)</li> <li>●自由鍛造品 (船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品)</li> <li>●鋳鋼品 (鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等)</li> <li>●精密鋳造品 (自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等)</li> <li>●製材用帯鋸</li> <li>●エンジンバルブ</li> <li>●圧縮機器・油圧機器・工作機械用部品</li> </ul>
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備 (排水・排ガス・廃棄物等の処理設備)、工作機械等</li> <li>●機械設備の保守管理</li> </ul>
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業</li> <li>●ゴルフ場経営</li> <li>●分析事業</li> </ul>

## 当社の主要な営業所および工場等

本 社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号	
東京本社	東京都港区港南一丁目6番35号	
支店・営業所	大阪支店 福岡営業所	大阪府中央区 福岡市中央区
工 場	知多、知多型鍛造、知多帯鋼 星崎 渋川 粉末 君津 王子	愛知県東海市 名古屋市南区 群馬県渋川市 名古屋市港区 千葉県君津市 東京都北区
テクノセンター	滝春 中津川 築地 川崎	名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区
研究開発拠点	技術開発研究所	名古屋市南区

## 重要な子会社および関連会社の状況

(注) ※印は、間接所有の株式を含みます。

### ①重要な子会社の状況

#### 特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同興業株式会社 (名古屋市東区)	百万円 1,511	% 100.0	商事
大同DMソリューション株式会社 (大阪府大東市)	435	96.2	特殊鋼鋼材の加工および販売 金型および金型部品の製造 および販売 鋼材および非鉄金属の熱 処理および表面処理
大同資材サービス株式会社 (名古屋市南区)	60	100.0	当社および子会社等への 諸資材の販売
大同テクニカ株式会社 (愛知県東海市)	40	100.0	鋼材の精整作業
大同エコメット株式会社 (愛知県東海市)	30	100.0	当社および子会社等から発 生する廃棄物のリサイクル 製鋼用原料・資材の製造 および販売
DAIDO DMS(THAILAND)CO., LTD. (タイ国チャチェンサオ県)	百万BAHT 257	* 90.0	金型用鋼および工具鋼プ レートの加工および販売
天文大同特殊鋼股份有限公司 (台湾桃園市)	百万NT\$ 138	* 73.4	金型用鋼および工具鋼プ レートの加工および販売
DAIDO DMS SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール国)	千S\$ 3,017	* 85.0	金型用鋼および工具鋼プ レートの加工および販売
DAIDO DMS MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア国セランゴール州)	千RM 7,980	* 89.6	金型用鋼および工具鋼プ レートの加工および販売

#### 機能材料・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社 (大阪市中央区)	百万円 5,000	* % 42.9	ステンレス鋼線および金属 繊維等の製造および販売
株式会社ダイドー電子 (岐阜県中津川市)	1,490	100.0	磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売
下村特殊精工株式会社 (千葉県市川市)	297	* 92.6	特殊鋼およびその他金属の 加工製品の製造および販売
日星精工株式会社 (名古屋市南区)	80	100.0	ネジおよびボルトの製造 および販売
大同電工(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 21,000	* 100.0	磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売
THAI SEISEN CO., LTD. (タイ国サムットプラカーン県)	百万BAHT 320	* 100.0	ステンレス鋼線およびダイヤ モンドダイスの製造および販売
Daido Electronics (Thailand) Co., Ltd. (タイ国アユタヤ県)	140	* 100.0	磁性材料および電子機器部 品の製造、加工および販売

## 自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
フジオーゼックス株式会社 (静岡県菊川市)	百万円 3,018	※ % 51.8	エンジンバルブ等の製造 および販売
株式会社大同キャスティングス (名古屋市中港区)	2,215	100.0	铸造品および特殊鋼管 材の製造および販売
日本鍛工株式会社 (兵庫県尼崎市)	310	100.0	型鍛造品の製造および販売
東洋産業株式会社 (宮城県黒川郡大衡村)	160	100.0	型鍛造品の製造および販売
大同スターテクノ株式会社 (群馬県渋川市)	150	100.0	鍛鋼品の機械加工、精整 および熱処理等の請負
大同精密工業株式会社 (東京都豊島区)	90	※ 87.7	圧縮機部品、ターボ部品 およびカップリング等の 製造および販売
FUJI OOXZ MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ国グアナファト州)	百万MXN 396	※ 100.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
Daido Steel (Thailand) Co., Ltd. (タイ国チョンブリー県)	百万BAHT 550	100.0	型鍛造品の製造および販売
PT. FUJI OOXZ INDONESIA (インドネシア国西ジャワ州)	億IDR 2,262	※ 75.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
富士気門(広東)有限公司 (中国広東省)	百万元 64	※ 100.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
OHIO STAR FORGE CO. (米国オハイオ州)	千US\$ 26	100.0	型鍛造品の製造および販売

## エンジニアリング

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社 (名古屋市中南区)	百万円 310	% 96.0	工作諸機械および各種機械の製 造および販売 機械設備の保守、点検および修理
大同環境エンジニアリング株式会社 (名古屋市中南区)	50	100.0	灰溶融炉設備および下水 汚泥処理設備の運転・ 保守業務請負
大同プラント工業株式会社 (名古屋市中南区)	36	64.4	工業炉の設計、製作および販売 工業炉の保守、点検および修理

## 流通・サービス

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス (名古屋市中南区)	百万円 490	% 100.0	当社および子会社等の福 利厚生施設の管理運用 不動産・土木建設・保険・ 印刷事業等
株式会社大同分析リサーチ (名古屋市中南区)	75	100.0	鉄鋼、製鋼、鋳物およびセ ラミックス等の分析・試験・ 調査業務の請負
株式会社スターインフォテック (名古屋市中東区)	45	100.0	情報通信機器によるシス テムの企画、設計、開発お よび保守運用受託
株式会社ライフサポート (名古屋市中南区)	10	※ 100.0	清掃業、警備業および給 食事業等
木曽駒高原観光開発株式会社 (長野県木曽郡木曽町)	10	※ 57.4	ゴルフ場の経営および 別荘地管理

## 流通・サービス(つづき)

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
有限会社タカクラ・ファンディング・コーポレーションを営業者とする匿名組合(東京都千代田区)	495 (出資金)	100.0%	複合商業施設保有のための匿名組合
大同特殊鋼(上海)有限公司(中国上海市)	千US\$ 3,880	*100.0	輸出・輸入商事
Daido Steel(America) Inc.(米国イリノイ州)	US\$ 9	*100.0	輸出・輸入商事

## ②重要な関連会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
東北特殊鋼株式会社(宮城県柴田郡村田町)	百万円 827	10.0%	高級特殊鋼および加工製品の製造および販売
理研製鋼株式会社(東京都中央区)	485	39.3	特殊鋼二次製品、切削工具および工作・産業機械等の製造および販売
丸太運輸株式会社(名古屋市瑞穂区)	100	41.3	運輸業、倉庫業、場内諸作業の請負業および土木建築請負業等
桜井興産株式会社(名古屋市南区)	75	43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社(東京都墨田区)	70	40.0	電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社(川崎市川崎区)	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および運輸業

## 従業員状況(2018年9月30日現在)

### ①当社グループの従業員数

セグメント区分	従業員数(名)
特殊鋼鋼材	3,419
機能材料・磁性材料	3,544
自動車部品・産業機械部品	3,301
エンジニアリング	673
流通・サービス	1,157
全社(共通)	465
合計	12,559

### ②当社の従業員数等

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
3,454	38.7	16.9

## 株式に関する事項 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	43,448,769株
株 主 数	18,007名

### ①大株主の状況

株 主 名	株式数(千株)	株式数比率(%)
新 日 鐵 住 金 株 式 会 社	3,100	7.13
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,144	4.93
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.77
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,773	4.08
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	1,577	3.63
日 本 発 條 株 式 会 社	1,449	3.33
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	1,405	3.23
本 田 技 研 工 業 株 式 会 社	1,305	3.00
トヨタ自動車株式会社	869	2.00
株 式 会 社 デ ン ソ ー	800	1.84

自己株式は除いております。

### ②所有者別株式分布状況

所有者区分	株式数(千株)	株式数比率(%)
金 融 機 関	19,161	44.1
国 内 法 人	14,094	32.4
個 人	4,899	11.3
外 国 人	4,146	9.5
証 券 会 社	340	0.8
自 己 株 式	806	1.9

## 取締役および監査役 (2018年9月30日現在)

代表取締役会長	嶋尾	正	
代表取締役社長	石黒	武	
代表取締役副社長	西村	司	
代表取締役副社長	立花	一人	
取締役	吉田	学史	
取締役	志村	進	
取締役	武藤	大	
取締役	天野	肇	
取締役	今井	正	(社外取締役・独立役員)
取締役	種村	均	(社外取締役・独立役員)
常勤監査役	古池	俊典	
常勤監査役	西川	真一	(社外監査役・独立役員)
監査役	松尾	憲治	(社外監査役・独立役員)

## 執行役員 (2018年9月30日現在)

社長執行役員	石黒	武*	執行役員	羽生田	智紀
副社長執行役員	西村	司*	執行役員	関	公彦
副社長執行役員	立花	一人*	執行役員	松井	宏司
常務執行役員	吉田	学史*	執行役員	川西	邦仁
常務執行役員	志村	進*	執行役員	竹鶴	隆昭
常務執行役員	武藤	大*	執行役員	清水	哲也
常務執行役員	平林	一彦	執行役員	利光	一浩
常務執行役員	天野	肇*	執行役員	梶田	聡仁
常務執行役員	森	義昭	執行役員	野口	祐二
常務執行役員	吉永	祐孝	執行役員	山下	敏明
			執行役員	鹿嶋	忠幸
			執行役員	岩田	龍司

(注) \*印は、取締役を兼務する者を示します。

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。(https://www.daido.co.jp/)

## 株式についてのご案内

- ・事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ・定時株主総会 6月
- ・基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
中間配当金 9月30日  
期末配当金 3月31日  
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部
- ・郵便物の送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部  
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00~17:00 (土日・休日を除く)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- ・公告方法 電子公告(当社ウェブサイトに掲載)  
【アドレス】<https://www.daido.co.jp/koukoku/>  
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### (お知らせ)

- ・住所変更、单元未満株式の買取・買増請求等のお申出先  
株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金のお支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・配当金受取方法のお取扱いについて  
従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

